



第3回 環境・エネルギー材料連続セミナー (NIMS-MEE 連続セミナー) エネルギー貯蔵・輸送と材料 ～効率的な電気エネルギー輸送と求められる材料～

主催：独立行政法人物質・材料研究機構 (NIMS) 「目に見えるエネルギー・環境材料戦略」
日時：平成20年3月21日(金) 15時00分～17時30分(懇親会 17時30分～18時30分)
場所：独立行政法人物質・材料研究機構 東京会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-2-2 虎ノ門30森ビル2F 201号室

最寄駅：日比谷線神谷町駅 4分、銀座線虎ノ門駅 5分

<http://www.nims.go.jp/jpn/visiting/tokyo-kaigishitsu.html>

参加費： 無料

プログラム

座長：藤田大介 ((独) 物質・材料研究機構 ナノ計測センター長)

15:00-15:10 開会の挨拶 原田幸明ラボ長 (独) 物質・材料研究機構 材料ラボ

15:10-15:45 講演1 「より安定した電力供給のための超電導技術と蓄電池技術

～地球環境問題への対応・エネルギーセキュリティーの確保～

池谷知彦 上席研究員(財) 電力中央研究所 材料科学研究所

概要：将来の電力供給を考えたときの、電力サイドからの超電導技術、蓄電池技術の期待を述べる。

15:45～16:30 講演2 「安全なりチウムイオン電池の開発を目指して」

高田和典 グループリーダー

(独) 物質・材料研究機構 ナノスケール物質センター ソフトイオニクスグループ

概要：可燃性の有機溶媒電解質を用いるリチウムイオン電池にとって安全性の向上は積年の願いであり、有機溶媒電解質に代えて無機の固体電解質の用いる全固体化はこの問題に対する抜本的解決法であると目されている。この安全性に優れた全固体リチウムイオン電池の実用化に向けた取り組みについて紹介する。

座長：長井寿 ((独) 物質・材料研究機構 環境エネルギー材料領域コーディネータ)

16:30～17:15 講演3 「超伝導利用の可能性はここまできた」

熊倉浩明 センター長 (独) 物質・材料研究機構 超伝導材料センター

概要：高温酸化物伝導線材を使った送電ケーブルやモーターなどの開発状況を概観し、抵抗ゼロの超伝導が環境保全や省エネルギーの分野でどのように貢献できるかを紹介する。

17:15～17:30 フリー・ディスカッション

17:30～18:30 懇親会

参加ご希望の方は、下記まで 参加者氏名、所属、連絡先(〒 住所 TEL E-mail 等)、懇親会への参加希望の有無を明記の上、お申し込み下さい。

参加申込み先：社団法人 未踏科学技術協会 エコマテリアル・フォーラム 担当：津田祥子

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-10 新橋アミノビル6階

TEL 03-3503-4681 FAX 03-3597-0535 E-mail ecomat@sntt.or.jp